

# 一般質問

山政研 代表質問



小川 一馬 議員

・さんむ医療センターについて

独立行政法人として5カ月が経過、経営見通しと現状について

**A** 市長 4月から7月の営業収益は15億2千362万円で、1億3千436万円の赤字と報告を受けています。成東病院時代と比べて、いい点と悪い点と両方、聞かせてきます。全体として、

活気が出ています。看護師も頑張っている。医師数は、昨年と比べ、若干の増、看護師の獲得に大変苦勞している。

**Q** 介護老人施設を併設するという計画について。

**A** 解散の協議の中で、介護施設の計画を作りましたが、当面は回復

期りハビリ病棟の開設に向けていきたい。ただ、今のところ、看護師数、その他が不足しており、もうしばらく時間がかかるだろうと思います。介護施設については、新たな建物を建てなければ取り組めないというのが現状だと思っています。

・道路整備計画について

**Q** 都市計画道路の進捗状況について。

**A** 都市建設部長 現在、市において計画している都市計画道路は、23路線です。地域別の整備状況は、成東地域の整備率0.5%、山武地域40.9%、蓮沼地域37.7%、松尾地域7.7%です。

**Q** 山武市全体を見るのと外側から中心に向かって整備をし、山武市全体の発展につなげるという考え方について、どのように考えているか。

**A** 都市建設部長 1つの例をあげますと、松尾から海岸まで、そのま

まいける。一方、山武、成東については、海岸までの直線道路がないということ、整備する必要があります。整備する必要があるのではと考えています。

**Q** 山武成東インターから幹線道路(国道)へのアクセスが非常に遅れていると特に感じます。圏央道の開通にあわせて、インターからのアクセス道路の計画はどうか。

**A** 市長 山武成東インターから成東インターまで、東市街をバイパスして、海岸線に向かうという計画が、旧成東町時代に、県により事業着手し、測量が終わって、面積的には22%に当たる土地が買収されていますが、平成14年度以降、事業が休止のままになっています。市としては、この事業を進めてもらいたいと県に対してお願いしてまいりたいと考えています。

**Q** せっかくあるインターチェンジが生かされていない。市の将来

につながる道路網の整備、インターを有効に活かして、市の発展につなげていただきたい。また、飯岡一宮バイパスの計画について、木戸川に橋をかけてもらいたいという地域の期待もあります。今までの流れを見ると、1年、2年、5年と時間だけが過ぎて、一向に実現に向かっていかない。地域の活性化、また、成田空港とのアクセス、道路網全体のバランスを考えた必要だと思えますが、

**A** 市長 木戸川の橋梁らたびたびの質問をいただいております。この路線のネックは、九十九里港の上に建てる架橋の問題で、ずっと事業が遅れているということだと思えます。山武市内の道路整備から進めていただければという要望を重ねて行ってきましたが、これからの強力な要望活動を続けてまいりたいと考えています。

・重点課題プロジェクトについて

**Q** 各プロジェクトの進捗状況について。

**A** 総務部長 日向の森の土地利用について

は45万平方メートル余りの広大な面積です。地元の意向や開発需要を把握するとともに、生態系、環境あるいは景観といったことに配慮した土地利用計画の作成、そのための開発需要の調査を目的として、日向の森検討調査業務を、昨年、委託により実施しています。将来の土地利用の方向性について、今年度さらに進めていきたいと考えています。松尾インターチェンジ周辺への空港関連の企業誘致については、今のところ大きな進展はありません。今後とも状況を見ながら、進めていくといった状況です。

**A** 経済環境部長 オライはすぬまを中心とした観光振興プロジェクトについて、昨年度、地域プロジェクト懇話会から、検討報告という形で報告書をいただきました。この報告書は、道の駅オライはすぬまと蓮沼海浜公園の活用など4分類に分けられ、分類ごとに具体的な施策が提言されています。可能性の高いものから積極的に取り組んでいくという考えのもと、既に実施した主なものとしては、蓮沼海浜公園付近の河津桜の植樹、蓮沼海岸における門扉の移設、ツール・ド・ちばの誘致、夏のサマーカーニバルや冬のロードレース大会などです。今年度は蓮沼海浜公園1号線の未利用地に、県共催のもと、ゴールドクラブの方々と花の植栽、九十九里浜環境保全活動支援事業の支援を受け、観光協会と桜の花道植栽事業を予定しています。



バイオマス体験棟